



芽 生 え

第24号

越谷地区更生保護女性会だより

越谷市福祉部長 中井 淳氏



ごあいさつ

越谷市福祉部長 中井 淳

昨年四月より、福祉部長を務めております
中井と申します。平成元年に入庁し、これまで高齢者福祉や生活保護など、福祉分野での勤務歴は一番長く、十四年目を迎えております。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

さて、近年の社会環境や社会構造の変容に伴い、「安全・安心」に対する関心が、より高まりつつあります。このような中、越谷地区更生保護女性会の皆様におかれましては、日頃より、愛の募金活動やミニ集会、市民まつり等での啓発活動など、年間を通じて様々な更生保護活動に積極的かつ献身的に取り組まれておりますことに、敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

今後とも、「女性の視点・立場」から、地域に寄り添い・地域を支えるなど、地域の犯罪予防と明るい社会の実現に向け、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。



総会・全体研修会

5月20日、中央市民会館劇場に於いて令和元年度の総会が、中井福祉部長、関口保護司会長をはじめ大勢のご来賓の皆様にご臨席を賜り開催されました。

会員262名中252名（内委任状98名）の出席のもと、岡崎会長を議長として、平成30年度の事業報告及び決算報告等、令和元年度の事業計画及び収支予算等の5議案が、原案通り満場一致で承認されました。

この委託期間中、職員は寮生と昼夜生活を共にし、仕事と居場所を確保し自立することを支援する施設です。

ここで、DVD「更生保護施設」再出発を支える人たちを見送り・早朝に仕事を出る寮生を見送り・夜は寮生が帰ってくるまで待つ等日々の生活・心情を把握しながら、社会適応を促しております。

**全体研修会から
清心寮白石寛司施設長
について**



新会員研修会に 参加して

増林支部 新戸美恵子
法務省主催の新会員研修会に参加し、更生保護の概要と基礎的知識を学ばせていただきました。

更生保護を支える更女会会員として社会で何か出来る事はないだろうかと常に思い、社会の中に多様なつながりを拡げ継続していく事が大事であること、地域に根差して人に寄り添い、愛を持って笑顔で活動していくこと等心構えを教えていただきました。

又、地域の母親役として、地域のパイプ役として、包容力を持った女性ならではの各地区の活動や更女会の成立ち、歴史そして、全国組織で、埼玉県は45地区・会員5,237名いる事などを知りました。人は人と交わって変わるもので、孤独にさせないことが大切です！更女会の皆様には様々な形でご支援いただいていることに感謝しています……長年、更生保護に取組まれておられる施設長の信念・情熱を秘めたお話に、更女会の使命＝立直りに努力する人々を温かく受け入れ、犯罪をしない・させない地域つくりに思いを巡らせました。

今回学んだ事を心に留め、更女会の活動、地域の関係団体との協働活動など、先輩方と共に歩んでまいりたいと思います。

千葉刑務所 視察研修に参加して

大沢支部 島田富子

千葉刑務所の門は、赤レンガ造りのイタリア式風の建物で明治40年に建てられた刑務所とは思えない素晴らしい外観でした。周囲も赤レンガ造りの高い塀で囲まれており、受刑者が多く収容しきれず平成21年に増築され現在は、959名収容されているそうです。刑期は10年以上の初犯の男子で懲役受刑者です。殺人を犯した者が68%おり無期懲役者が67%だそうです。成田空港があるので、多国籍の外国人被収容者も多く、職員は263名で対応されているそうです。

受刑者の部屋を案内して頂きました。個室は3畳位で布団、トイレ、テレビがあり、出入口は鉄条網で鍵がかかり物の出し入れに小さい窓がありました。6人部屋も見学しました。

次に作業場を見学しました。今ここに殺人を犯した者が70人いると聞き、ドキッとき、緊張しました。仕事は種類が多く、皮革では靴やカバンの製造、木工ではイスやテーブル、みこしの製作や紙製

東ブロック 研修会に参加して

越ヶ谷支部 坂田庸子

品等を監視のもとで黙々と作業しております。刑務作業すると多少あるが報奨金が支給されて、更生資金の一部として釈放時に支給されるそうです。食事や医療等の生活費用は、すべて国の税金が使われているそうです。所内で出来ることは、外部に発注することなく行っているとのことでした。

派出所には、教育や就職の世話をあり再犯を防ぐ対策もしています。収容者の年令は、23才から最高齢者は88才です。どうして犯罪を犯してしまうのか、犯罪者を出さない明るい社会でなくてはならないと感じました。

研修会は講演者変更となり、さいたま保護観察所企画調整課・石井課長の「地域の為にできること」というテーマでした。

内容は、最近の犯罪情勢は最悪の年だった2002年の285万件に比べ、2018年には82万件と、はるかに減少したものの、体感治安は、逆に悪化の一途をたどる現状です。インターネット犯罪、振り込め詐欺等、犯罪の質がしたたかで巧妙になってきたと危惧しているとのお話しでした。又、青少年の問題行動の背景にあるものは、家庭での複雑な環境等で心がすんで犯罪に手を染めてしまつたケースや、摂食障害の母親を抱えて生きる力をなくし、自殺してしまったケース等、心の痛む講話が続き「苦しんでいる人には共感し接するが第一。無条件で受け止

めほしい!!それが子どもの心の叫びです。」と力強く話されました。又、「更生保護女性会の方々は、対象者を年齢とか経験等を生かして、温かく見守ってほしい!!犯罪を繰り返さない歯止めになつてほしい!!という言葉で締めくくられ大変貴重な講義でした。

その後、ビデオ上映「君がいるから」、昼食をはさんで、グループ討議と続きました。

グループ討議では、日頃取り組んでいる活動等の話しの中で、特に高齢者の食事づくりや、サロンづくりをしているとか、青少年問題、子育て支援、愛の募金活動等、地域で地道に励んでいる方々と和氣あいあいの中でのコミュニケーションを深める事ができました。

その後、全体会で各班から発表、講評がありました。

本橋会長さんが開会の挨拶の中で述べられました言葉で「この会を『学びの場』『交流の場』『自己研鑽の場』にしていただきたい!!」これを実感できた今回の研修会でした。

そして、今回当番地区の岩槻蓮田地区の方々の気くばり、心くばりに感謝いたします。



**埼玉県更女連盟指定事業
親業講演会**



参加者（40～70代）の感想文

親業とは「子どもが育つ上で親がいかにかかわるか」という親の側に焦点をあてたコミュニケーションプログラムでした。

○聞くこと○話すこと○対立を解くこと

親業の3つの柱

○親業良かったです。ついつい忙しくて、子供にやってしまってること。分かっていても、なかなか出来なくて、今日改めて子供とキャッチボールをしなおそうと思いました。

○ことば、会話の大切さを改めて考えました。

○心のかけ橋（心のキャッチボールの大切なこと）が良く解りました。我家の孫と母親（嫁さん）の会話、きつい時あります。母

親がそばを離れた時、一寸やさしい言葉をかけると素直になります。寄り添ってあげるという事「子育ては孫育てでもある」と以前聞いたことがあります。

今になって、その通りだと思います。子育てをしている時、自分にも心のゆとりがなかったと思います。「齡の功」ですかね!! 具体例を多く取り上げて下さり、とてもすんなりと理解しやすかつ

11月11日中央市民会館に於いて福山保護司会代表・杉本社会福祉協議会長のご臨席を賜り、加藤由紀子講師による講演は、参加者101名がホールプレイで弾み、なごやかに、愉悦しく学ぶ時間でありました。

感想文



**中堅会員研究協議会に
参加して**

新方支部 永野為宇子

11月28日さいたま共済会館にて開催、当地区より12名参加いたしました。本橋県連会長、さいたま保護観察所、角田次長のご挨拶後、令和元年度の中央研修会、関東地区更女連盟会員研修報告を拝聴す

る。

その後「生きる力と、それを支えた力」と題して、作家である、野村路子氏の講演を、野村氏は、1989年、その頃、身体の具合が悪かった娘さんに「18才迄元気にして、二人でチエコスロバキア（チエコ）へ、卒業記念旅行に出かけた。その際に出合った絵についてのお話しでした。

第二次世界大戦時、ナチスドイツは、ヨーロッパを侵攻し多くのユダヤ人を強制収容所に送りこみテレジンの収容所には、一万五千人の子ども達が、一日十時間の労働を強いられ、労働が出来なくなるとガス室へと、殺人工場であったのだと話される。そんな境遇の中で描かれた子ども達の絵を日本各地を講演、展示を開催されているとのことでした。

現在、チヨコのプラハにあるユダヤ博物館に所蔵されているそうですが、その中より数点を博物館側と交渉して展示、戦争の中で犠牲になつた子ども達の残した絵を通して、命と平和の尊さ、大切さを感じてほしいと結ばれました。

**更生保護制度施行70周年記念
第66回埼玉県更生
保護大会に参加して**

11月19日、戸田市文化会館に於いて、多くの関係者が参加して、開催されました。越谷地区更女会からも、会長他、受賞者15名が参加致しました。

開式後、大阪大学大学院人間科学研究科教授である藤岡淳子氏による講演「非行・犯罪からの回復に資する対話の可能性」と題したお話しを伺いました。

○初めて犯罪をおかす年令が低いほど常習化するが、大人になるにつれて急減する。それは、結婚・就労等(外的要因)が人生を再考させるからであり、社会的な絆が、多ければ多い程、犯罪から離脱出来る。

○人と関わることで、自他の考え方を持ち言葉で表現(内的要因)人をつながることで、非行・犯罪からの離脱につながる。

○共感を持って話を聞かれ、また

人の言動を見聞きすることで、自分を見ることが出来るようになる。「対話」の重要性を話されました。

次に式典に移り、厳粛な中で、天皇陛下の、お言葉を奉読される関口越谷地区保護司会長のお姿に感激いたしました。主催側のご挨拶の後、顕彰に入り、多くの方々や団体に対して、表彰状、感謝状が授与されました。



**市民まつり
パレード・模擬店へ参加**

10月27日、天候にも恵まれて、越ヶ谷小学校から市役所迄のパレードに70名参加致しました。模擬店への搬出品も、年を重ねる毎に、品数が増し、心待ちにしておられる方も多く見られます。

模擬店売上純利益
一一九、二七五円より

○市、社会福祉協議会
“愛の詩”募金へ

○市、福祉推進課を通して東日本大震災への支援金各々、三万円を寄付致しました。ご協力ありがとうございました。



社会を明るくする運動



新越谷駅頭にて



清心寮訪問研修

桜井支部 長野良子

令和元年12月5日、岡崎会長をはじめ16名で訪問いたしました。

玄関前にて、施設長白石様、職員の皆様方に迎えられました。集会室には、絵手紙や写真、絵画、花が飾られており、机の上には清心寮の栄、手作りのカレンダー、会報清心寮と私達の為に見学研修資料等ご用意されておりました。

施設長白石様より、寮の建設時には、かなりの反対意見があつた

入所者には、高齢者や障害者を持つ方もいるそうです。自立する為の生活相談を実施、就職活動への前向きな指導と支援に取り組まっているが、就職先は土木建築関係が多いようです。施設内は、整理整頓され、職員の方々のあたたかい心づかいを感じました。

寮生の一日も早い社会復帰を願い帰路につきました。

祝 成 人

今年度は、男子6名、女子2名の保護観察対象者が成人式を迎えるました。お祝いの言葉に添えて、男子には財布、女子には可愛いポーチを担当されている保護司の先生を通して贈りました。

後日、保護司の先生方より、お礼のお言葉をいただいています。



2019.12

県連盟主催 代表者実務研究会

平川好子

2月27・28日と秩父長瀞町の長生館にて実務研究会が開催され、岡崎会長と出席させていただきました。

一日目、さいたま保護観察所の岸規子所長の講話「再犯防止について考えてみましょう」でした。

罪を犯したこと反省し、立ち直りたいと思っている人は多いのに、なぜ、再犯に走るのか?それは、住む所がない。仕事がない。高齢・障がいがある。が主な理由で、更生には国の法律だけではなく社会での支援が必要だとこのこと。

その後ブロック別研究協議会となり、別室にて行なわれ、各地区からの活動内容をまとめて、再び元の会場に戻りブロック別に発表し、終りに岸所長から総評をいただき一日目は終了となりました。

二日目、「ミニ集会指定地区」改め「地域との連携・協働活動推進地区」の実施中間発表（本庄地区）と「子育て支援地域活動」指定地区中間発表（東松山地区）がありました。有意義な時間を過ごさせていただき感謝いたします。

武蔵野学院 クリスマス園遊会 演劇会へ参加して

さいたま市緑区、地名にも緑がついているように、自然に恵まれた広い敷地内に寮舎、学習棟・グランド・プール・耕地等々、大正8年3月に開設され、100年目を迎えた未成年の男子が入所される施設です。以前、観察所の先生より武藏野学院は、厚生労働省の管轄であると伺ったことを思い出しながら学院生の待つグランドへ。既に薪ストーブが設置され、各寮毎に手作りの模擬店が出店、その呼び込みにも熱が入っておりました。

院生、一人ひとりどこにでもいる普通の少年で、とても学校や家庭で問題をおこしたとは思えない礼儀正しい接客態度でした。

午後は、講堂に移動し各寮毎に演劇、演舞、楽器演奏等を観賞。現代風の趣向を凝らした映像を取り入れた中に、将来の夢や希望を語る姿に、ひさびさの対面である父母、兄弟の盛大な拍手がおこられており、非行や不良行為をした少年とは思えない立派な発表会でした。

ミニ集会報告

出羽支部

11月6日

出羽支部では、ミニ集会Ⅱ井戸端会議を根底に地域の方々とのコミュニケーションを第一と考え、まず、愛の募金に協力いただいたお礼を申し上げると共に越谷地区更

女会出羽支部の活動等を報告。

清心寮や矯正施設視察研修もある他、多方面に亘る活動の多さやその活動内容に奥深さ等を感じたとの言葉をいただき、更女会活動に賛同して少しでも地域環境等を良くしたいとの姿勢が伺え感動しました。

大沢支部

11月12日

榛名女子学園へ保護司・来賓・会員等で施設訪問研修・ミニ集会を行いました。

同施設は、関東・甲信越・静岡

家裁等において少年院送致の決定を受けた14歳以上20歳未満の女子少年を収容する国の施設です。主な非行名は窃盗・覚せい剤・傷害その他で33名在園中。

この学園は、学校教育を受けていない少年が多く、在園中に復学調整、仮退院後の保護観察へと一連の社会復帰のための指導・支援を行っています。

現実的な生活に戻す努力が如何に大切なことを改めて知り、家庭の温かさの必要性を実感した研修でした。

11月20日

今日の大袋支部内での地域環境・

蒲生支部

12月2日

地域の方々から愛の募金をいた

だいでいることへの感謝と共に市

状況等の問題について参加者一同で話し合い。

保護司さんから担当されている

少年等の家庭環境や民生児童委員

の方が見守る中での親子の在り方

等守秘義務を踏まえてのお話をお

聞きしました。今の時代は、近所

の方々との交流が余りなく、助け

を期待できない中で、皆様の対応をお聞きして、とても心強く期待・感動いたしました。

増林支部

2月19日

民まつり時の模擬店へ会員から不用品を拠出して、その売上金の一部を東日本大震災の被災者等へ社協等を介して寄付していること。

又、裁判所からの特別送達の事など様々な詐欺対策を考えていただけ大変参考になりました。

越谷市役所危機管理課・長谷川彩子主事による「災害への備え自

助・共助」講話は、越谷市の災害

現況・対応・自助としての備え、

互助としての越谷市災害時要援護者避難支援制度等をお話しいただいた後に質疑応答・話合いの中で共助の難しさー支え合い・見守り等地域での平素の繋がり・関わりの在り様が問われると痛感した。

桜井支部

2月19日

松崎孝保護司の講話「ひきこもり」から、今日では「30歳から50歳のひきこもり」が多くなっている。今日の30代の男性の親子関係の話から、孤立して社会とのつながりがなく自立が困難となっている。

荻島支部

2月19日

自治会長はじめ出席者24名出席。更女会の年間活動報告及び各自治会長様より地域の現状について報告をうける。

新方支部

2月19日

自治会への加入率を高めるためには、どのようにしたらよいか悩ませておりました。

越ヶ谷支部

2月19日

は切実な問題だと感じ入りました。

新方支部

2月19日

「明るい新年を迎えるために」とのテーマで越谷警察署振り込め詐欺対策員椎名俊之氏の講演からビデオやパンフレットとともにキャッシュカードのすり替え詐欺・還付金詐欺等を説明され、実際に会員のスマホに架空請求メールが送ら

れて場合の解決方法を実演され、

又、裁判所からの特別送達の事など様々な詐欺対策を考えていただけ大変参考になりました。

越谷市役所危機管理課・長谷川彩子主事による「災害への備え自

助・共助」講話は、越谷市の災害

現況・対応・自助としての備え、

互助としての越谷市災害時要援護者避難支援制度等をお話しいただいた後に質疑応答・話合いの中で共助の難しさー支え合い・見守り等地域での平素の繋がり・関わりの在り様が問われると痛感した。

増林支部

2月19日

松崎孝保護司の講話「ひきこもり」から、今日では「30歳から50歳のひきこもり」が多くなっている。今日の30代の男性の親子関係の話から、孤立して社会とのつながりがなく自立が困難となっている。

荻島支部

2月19日

自治会長はじめ出席者24名出席。更女会の年間活動報告及び各自治会長様より地域の現状について報告をうける。

新方支部

2月19日

自治会への加入率を高めるためには、どのようにしたらよいか悩ませておりました。

越ヶ谷支部

2月19日

は切実な問題だと感じ入りました。

新方支部

2月19日

「明るい新年を迎えるために」とのテーマで越谷警察署振り込め詐欺対策員椎名俊之氏の講演からビデオやパンフレットとともにキャッシュカードのすり替え詐欺・還付金詐欺等を説明され、実際に会員のスマホに架空請求メールが送ら

れた場合の解決方法を実演され、

又、裁判所からの特別送達の事など様々な詐欺対策を考えていただけ大変参考になりました。

越谷市役所危機管理課・長谷川彩子主事による「災害への備え自

助・共助」講話は、越谷市の災害

現況・対応・自助としての備え、

互助としての越谷市災害時要援護者避難支援制度等をお話しいただいた後に質疑応答・話合いの中で共助の難しさー支え合い・見守り等地域での平素の繋がり・関わりの在り様が問われると痛感した。

増林支部

2月19日

松崎孝保護司の講話「ひきこもり」から、今日では「30歳から50歳のひきこもり」が多くなっている。今日の30代の男性の親子関係の話から、孤立して社会とのつながりがなく自立が困難となっている。

荻島支部

2月19日

自治会長はじめ出席者24名出席。更女会の年間活動報告及び各自治会長様より地域の現状について報告をうける。

新方支部

2月19日

自治会への加入率を高めるためには、どのようにしたらよいか悩ませておりました。

越ヶ谷支部

2月19日

は切実な問題だと感じ入りました。

新方支部

2月19日

「明るい新年を迎えるために」とのテーマで越谷警察署振り込め詐欺対策員椎名俊之氏の講演からビデオやパンフレットとともにキャッシュカードのすり替え詐欺・還付金詐欺等を説明され、実際に会員のスマホに架空請求メールが送ら

れた場合の解決方法を実演され、

又、裁判所からの特別送達の事など様々な詐欺対策を考えていただけ大変参考になりました。

越谷市役所危機管理課・長谷川彩子主事による「災害への備え自

助・共助」講話は、越谷市の災害

現況・対応・自助としての備え、

互助としての越谷市災害時要援護者避難支援制度等をお話しいただいた後に質疑応答・話合いの中で共助の難しさー支え合い・見守り等地域での平素の繋がり・関わりの在り様が問われると痛感した。

増林支部

2月19日

松崎孝保護司の講話「ひきこもり」から、今日では「30歳から50歳のひきこもり」が多くなっている。今日の30代の男性の親子関係の話から、孤立して社会とのつながりがなく自立が困難となっている。

荻島支部

2月19日

自治会長はじめ出席者24名出席。更女会の年間活動報告及び各自治会長様より地域の現状について報告をうける。

新方支部

2月19日

自治会への加入率を高めるためには、どのようにしたらよいか悩ませておりました。

越ヶ谷支部

2月19日

は切実な問題だと感じ入りました。

新方支部

2月19日

「明るい新年を迎えるために」とのテーマで越谷警察署振り込め詐欺対策員椎名俊之氏の講演からビデオやパンフレットとともにキャッシュカードのすり替え詐欺・還付金詐欺等を説明され、実際に会員のスマホに架空請求メールが送ら

れた場合の解決方法を実演され、

又、裁判所からの特別送達の事など様々な詐欺対策を考えていただけ大変参考になりました。

越谷市役所危機管理課・長谷川彩子主事による「災害への備え自

助・共助」講話は、越谷市の災害

現況・対応・自助としての備え、

互助としての越谷市災害時要援護者避難支援制度等をお話しいただいた後に質疑応答・話合いの中で共助の難しさー支え合い・見守り等地域での平素の繋がり・関わりの在り様が問われると痛感した。

増林支部

2月19日

松崎孝保護司の講話「ひきこもり」から、今日では「30歳から50歳のひきこもり」が多くなっている。今日の30代の男性の親子関係の話から、孤立して社会とのつながりがなく自立が困難となっている。

荻島支部

2月19日

自治会長はじめ出席者24名出席。更女会の年間活動報告及び各自治会長様より地域の現状について報告をうける。

新方支部

2月19日

自治会への加入率を高めるためには、どのようにしたらよいか悩ませておりました。

越ヶ谷支部

2月19日

は切実な問題だと感じ入りました。

新方支部

2月19日

「明るい新年を迎えるために」とのテーマで越谷警察署振り込め詐欺対策員椎名俊之氏の講演からビデオやパンフレットとともにキャッシュカードのすり替え詐欺・還付金詐欺等を説明され、実際に会員のスマホに架空請求メールが送ら

れた場合の解決方法を実演され、

又、裁判所からの特別送達の事など様々な詐欺対策を考えていただけ大変参考になりました。

越谷市役所危機管理課・長谷川彩子主事による「災害への備え自

助・共助」講話は、越谷市の災害

現況・対応・自助としての備え、

互助としての越谷市災害時要援護者避難支援制度等をお話しいただいた後に質疑応答・話合いの中で共助の難しさー支え合い・見守り等地域での平素の繋がり・関わりの在り様が問われると痛感した。

増林支部

2月19日

松崎孝保護司の講話「ひきこもり」から、今日では「30歳から50歳のひきこもり」が多くなっている。今日の30代の男性の親子関係の話から、孤立して社会とのつながりがなく自立が困難となっている。

荻島支部

2月19日

自治会長はじめ出席者24名出席。更女会の年間活動報告及び各自治会長様より地域の現状について報告をうける。

新方支部

2月19日

自治会への加入率を高めるためには、どのようにしたらよいか悩ませておりました。

越ヶ谷支部

2月19日

は切実な問題だと感じ入りました。

新方支部

2月19日

「明るい新年を迎えるために」とのテーマで越谷警察署振り込め詐欺対策員椎名俊之氏の講演からビデオやパンフレットとともにキャッシュカードのすり替え詐欺・還付金詐欺等を説明され、実際に会員のスマホに架空請求メールが送ら

れた場合の解決方法を実演され、

又、裁判所からの特別送達の事など様々な詐欺対策を考えていただけ大変参考になりました。

越谷市役所危機管理課・長谷川彩子主事による「災害への備え自

助・共助」講話は、越谷市の災害

現況・対応・自助としての備え、

互助としての越谷市災害時要援護者避難支援制度等をお話しいただいた後に質疑応答・話合いの中で共助の難しさー支え合い・見守り等地域での平素の繋がり・関わりの在り様が問われると痛感した。

増林支部

2月19日

松崎孝保護司の講話「ひきこもり」から、今日では「30歳から50歳のひきこもり」が多くなっている。今日の30代の男性の親子関係の話から、孤立して社会とのつながりがなく自立が困難となっている。

荻島支部

2月19日

自治会長はじめ出席者24名出席。更女会の年間活動報告及び各自治会長様より地域の現状について報告をうける。

新方支部

2月19日

自治会への加入率を高めるためには、どのようにしたらよいか悩ませておりました。

越ヶ谷支部

2月19日

は切実な問題だと感じ入りました。

新方支部

2月19日

「明るい新年を迎えるために」とのテーマで越谷警察署振り込め詐欺対策員椎名俊之氏の講演からビデオやパンフレットとともにキャッシュカードのすり替え詐欺・還付金詐欺等を説明され、実際に会員のスマホに架空請求メールが送ら

れた場合の解決方法を実演され、

又、裁判所からの特別送達の事など様々な詐欺対策を考えていただけ大変参考になりました。

越谷市役所危機管理課・長谷川彩子主事による「災害への備え自

助・共助」講話は、越谷市の災害

現況・対応・自助としての備え、

互助としての越谷市災害時要援護者避難支援制度等をお話しいただいた後に質疑応答・話合いの中で共助の難しさー支え合い・見守り等地域での平素の繋がり・関わりの在り様が問われると痛感した。

増林支部

2月19日

松崎孝保護司の講話「ひきこもり」から、今日では「30歳から50歳のひきこもり」が多くなっている。今日の30代の男性の親子関係の話から、孤立して社会とのつながりがなく自立が困難となっている。

荻島支部

2月19日

自治会長はじめ出席者24名出席。更女会の年間活動報告及び各自治会長様より地域の現状について報告をうける。

新方支部

2月19日

自治会への加入率を高めるためには、どのようにしたらよいか悩ませておりました。

越ヶ谷支部

2月19日

は切実な問題だと感じ入りました。

新方支部

2月19日

「明るい新年を迎えるために」とのテーマで越谷警察署振り込め詐欺対策員椎名俊之氏の講演からビデオやパンフレットとともにキャッシュカードのすり替え詐欺・還付金詐欺等を説明され、実際に会員のスマホに架空請求メールが送ら

れた場合の解決方法を実演され、

又、裁判所からの特別送達の事など様々な詐欺対策を考えていただけ大変参考になりました。

越谷市役所危機管理課・長谷川彩子主事による「災害への備え自

助・共助」講話は、越谷市の災害

現況・対応・自助としての備え、

互助としての越谷市災害時要援

令和元年度 愛の募金報告

募金総額

1,414,700円

内訳

○県連盟納入金

350,000円

○地区活動費

923,230円

○支部活動費

141,470円

各自治会、企業、保護司、会員の皆様
方へ厚くお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

おめでとうございます

更生保護制度施行70周年記念

第66回埼玉県更生保護大会

戸田市文化会館 令和元年11月19日

- ・関東地方更生保護委員会委員長感謝状
永野為宇子（新方）
- ・さいたま保護観察所長感謝状
鈴木登喜枝（越ヶ谷）、鈴木 繁子（大沢）、
閑根 洋子（増林）、山田ヤエ子（大相模）、
小菅みち子（出羽）、平野美智子（出羽）
- ・埼玉県更生保護女性連盟会長表彰
八木 秋子（越ヶ谷）、村松 幸子（越ヶ谷）、
遠藤 美子（大袋）、鈴木 陽子（大相模）、
鈴木 晴子（蒲生）、鋪野あさ子（出羽）、
河上ふさ子（出羽）、松沢いさ子（荻島）
- 第24回越谷市地域安全推進大会表彰
令和元年10月11日 コミュニティセンター
- ・地域安全功労者表彰
小板橋春江（大沢）、川島佐代美（大袋）、
篠田 良子（新方）、門口 泽子（桜井）、
須賀 正江（増林）



新 年 会

1月20日、ギャザホールに於いて開催、ご来賓の皆様をはじめ、111名出席され、なごやかな楽しいひと時を過ごしました。

令和2年度行事予定

一、第1回役員理事会 1月27日 中央市民会館	二、総会・全体研修 5月18日 中央市民会館劇場
三、駅頭広報活動 7月1日 市内8駅	四、社明大会「音楽と講演の集い」 7月17日 中央市民会館劇場
五、矯正施設訪問研修 9月7日	六、東ブロック研修会 9月17日 中央市民会館
七、第46回市民まつり 10月11日	八、第67回埼玉県更生保護大会 11月10日 埼玉会館
九、新年会 1月25日 ギャザホール	

編集後記

令和元年度は、更生保護制度施行70周年を迎える、当地区の更女会も又、「小さな奉仕の会」を含むと60年を経過致しました。諸先輩の築かれた支え合いの精神を大事にと考える昨今です。